

全国美術館会議 ホームページ運営研究部会 第16回会合の報告

日 時：2008年11月14日（金） 14:00～18:00

会 場：国立新美術館研修室

出席者：9名

酒井 哲朗（福島県立美術館館長：部会長）
浜田 拓志（和歌山県立近代美術館主幹：幹事）
宮武 弘（福島県立美術館主任学芸員：副幹事）
平井 章一（国立新美術館主任研究員：部会員）
生田 ゆき（三重県立美術館学芸員：部会員）
小林 豊子（全国美術館会議：事務局）
本造 雅美（株式会社パークウェーブ）
上坂 真由（同上）
長納 浩幸（同上）

おもな内容：

この会合では、トップページをより利用しやすくするために、いくつかの変更が検討された。たとえばトップページ上部で8つの加盟館の外観写真を掲載（ローテーション）する方式、わかりやすいログイン表示等である。「テーマごとの入口」については第15回会合に引き続き、さらに方策が検討された。また事務局の代表アドレス（info@zenbi.co.jp）の設定や、美術関連の法令集のページの整備についても協議が行われた。

1) 全国美術館会議 HP のトップページの変更について

* パークウェーブから

- ①現状：トップページ上部に 8 つの加盟館の外観写真を掲載（週替わりローテーションで変化）
- ②提案：クリックする度に画像が変わるようにしてはどうか

* 研究部会からの意見

- ①会員館のメンバーが知りたい項目をとりまとめ、その項目にたどり着きやすくするという現在の主たる課題を実現したい。
〔例〕公益法人制度 ・ 指定管理者制度 ・ 著作権制度 ・ 保存/修復 ・ 災害/防災
- ②HP の特性上、非会員の閲覧と会員の閲覧の差別化をどうするか。HP の性格付けをはっきりする必要がある→個々の館の HP で出来ること（例：イベント情報）と、全国美術館会議 HP でないとできないことを区別する。全美 HP はイベント情報を扱わない。
- ③全国美術館会議の活動の中で、活発なものは「部会」の活動である。これを中心に組み立て直すことはできないか。

* 今後の方針

- ①トップページ上部に目立つ形で login 表示をつける。
- ②別案のとおり、トップページのデザインを変更する（まずパークウェーブに試案を作成してもらう）

②「人々と美術館」のページについてはしばらく閉鎖する。リニューアル案については教育普及研究部会のアドバイスももらう。

③全国美術館会議等が行ったアンケートの結果を、許可を得て HP にアップしてはどうか。

・全美事務局の代表アドレスを設ける info@zenbi.co.jp ← 今後は広く周知。印刷物等にも記す。

* さらに先を考えたの方針

① 全美の過去の蓄積を有効に活用するために、データベース化（キーワードによる検索、分類等）を視野に入れたリニューアルを考える。

→ ただし、リニューアルは段階的に（まずトップページの変更、その後徐々に各機能を整備）

② リニューアルのロードマップと必要経費案を出す。

2) 美術関連の法令集のページの整備について（宮武氏より）

① 総務省の法令集データベースの入り口ではなく、個々の法令のページにリンクを貼ることは可能か → 全美の会長名で申請を行えば通るはず。

②（別件だが）全美 HP の会員館リンク集においても、個々の美術館ではなく、管轄部署（例：市町村の HP 等）へのリンク指定があるが、利用者に対する便宜を考えたら変更すべきではないか → 各館の事情があり、一概には言えない。

3) 各研究部会等の活動状況の報告（小林氏より）

① 小規模館研究部会

12 月 11, 12 日 岡山県にて部会

② 保存研究部会

日本版ファシリティリポートのダウンロードをワードでも行いたい

→ 機種依存文字のチェックをかけてから事務局へ

第 34 回部会・2007 年度学芸員研修会報告書を作成中

③ 教育普及研究部会

第 32、33 回の部会のコンテンツを作成中

④ 美術館運営制度研究部会

第 9～11 回の部会の活動歴を作成中

⑤ ニュース研究部会

原田部会長の下、部会員募集中

⑥ 事務局

2008 年度会員館名簿、総会報告書 → 年内発送予定

2007 年度学芸員研修会報告書（担当 保存研究部会） → 1 月頃か（約 120 ページ）

4) 南出氏の後任（案）について（浜田氏より）